

1 基本項目	事務事業名				新川学びの森天神山交流館運営事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名				交流館運営費		係名	生涯学習・文化係	
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1045	
	事業期間		開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	教育費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり					項	社会教育費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進					目	学びの森天神山交流館費
		基本事業名	基本事業30－1. 学び続ける環境づくり					総合計画主な事業	
	根拠法令				総合戦略との関連				関連なし
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				集中プランとの関連

2 事業概要	事業概要	（一財）魚津市施設管理公社を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を広く市民に提供する。						
	対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等						
	手段（活動指標）	（一財）魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。						
	意図（成果指標）	施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。						

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 施設経費	円	49,347,116	51,355,040	48,057,000	49,905,720	103.8%	55,105,000
		② 自主事業実施回数	回	254	218	136	295	216.9%	250
	成果	① 利用件数	件	6,719	6,915	7,600	7,005	92.2%	7,600
		② 利用者数	人	48,757	47,739	58,000	47,298	81.5%	50,000

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	49,347,116	51,355,040	49,905,720	49,905,720	-2.8%	55,105,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	533,410	430,253	416,000	401,555	-6.7%	416,000
人件費	財源内訳	⑤一般財源	円	48,813,706	50,924,787	49,489,720	49,504,165	-2.8%	54,689,000
		①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	2	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	300	580	500	580	0.0%	580
総費用	費	③人件費（②×④ 4,027 円）(B)	円	1,208,100	2,335,660	2,013,500	2,335,660	0.0%	2,335,660
		総費用 (A+B)	円	50,555,216	53,690,700	51,919,220	52,241,380	-2.7%	57,440,660

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等							
	○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。							
	○配管保温補修工事、ｽﾀｲﾙｳｪｲﾂﾌﾞﾙﾄﾞ型ｱｸｼｮﾝﾊﾝｶﾞｰ交換修繕、合唱室階段平段及びフロアー立ち上げ補修工事を実施した。							
	○平成30年度は、魚津官民連携地域プラットフォームを活用し、幅広い官民連携手法の検討と可能性を探るため、次の事業を実施した。 ・サウンディング調査(8/24富山地域において公開型、11/13～16個別型で5社) ・ワークショップの開催(1/29 3社) ・3月議会の総務文協委員会にて交流館の一部の利活用について民間事業者に公募したい旨を説明（H31.6公募予定）							

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	C	B	進め方等の改善が必要	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	2 検討の余地あり
1 次評価	結果（課長総括）	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	① 目標達成度	2 目標どおり
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	人と文化を育むまちづくりのためにも引き続き当館を運営していく。そのためにも官民連携事業や利用料金の増額等を検討しながら当館の効率的で効果的な運用を目指す必要がある。	② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	2 普通
					① コスト効率	2 普通
2 次評価					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	音楽のまちづくり推進事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	教育費
	政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	社会教育費
	施策名	施策32. 文化の振興					目	学びの森天神山交流館費
	基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おながく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。 また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。	
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児	
	手段（活動指標）	「おながく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。	
	意図（成果指標）	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 事業数	件	54	34	40	52	130.0%	50
		② 事業支援数	件	2	2	2	2	100.0%	2
	成果	① 音楽事業参加者数	人	3,621	3,472	3,500	3,296	94.2%	3,500
		② 芸術文化に触れる機会が多くあると思う市民の割合	%	29.4	28.4	34.0	33.9	99.7%	37.0

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	2,904,949	2,719,718	2,720,000	2,719,721	0.0%	2,498,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	43,000	107,500	80,000	70,000	-34.9%	80,000
		⑤一般財源	円	2,861,949	2,612,218	2,640,000	2,649,721	1.4%	2,418,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	3	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	120	460	460	460	0.0%	460
		③人件費（②×@ 4,027 円）(B)	円	483,240	1,852,420	1,852,420	1,852,420	0.0%	1,852,420
	総 費 用 (A+B)		円	3,388,189	4,572,138	4,572,420	4,572,141	0.0%	4,350,420

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○「おながく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。 市民のためのクラシック講座「クロマティック・ハーモニカの魅力」を6月10日に、「オーケストラの楽しみ方」を11月18日に開催した。市民のための出前コンサートを6月10日、8月16日、12月8日、12月16日、3月2日の計5回実施した。小中学生のための音楽推進事業として、小学校では、声楽家らによる歌唱指導や卒業式に向けての合唱指導を行った。中学校では、合唱祭に向けての指導、西部中学校における合唱祭での審査やミニコンサートを行った。 ○とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援した。	

6 評 価	評価の視点		H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥 当 性		A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
						② 目的の妥当性	1	妥当である	
						③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性		B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり	
						② 類似事業の有無	1	なし	
						③ 上位施策への貢献度	2	普通	
	効 率 性		B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
						② 実施主体の適正化	1	適正である	
						③ 負担割合の適正化	1	適正である	
1 次 評 価	結果 (課長総括)		B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり		不要		
	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	保育園、幼稚園から小学生に向けて、本格的な音楽に親しむ機会を作ること、情操教育にも効果が上がってきている。今後は市民のニーズを把握し、事業内容の見直しを図るとともに、事業の周知に取り組む必要がある。	2 次 評 価				
		事業の拡充							
		事業の縮小							
		統合等の検討							
		終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名				新川文化ホール管理事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課			
	予算事業名				新川文化ホール管理費		係名	生涯学習・文化係			
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1045			
	事業期間				開始年度	平成6年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費			
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費			
		施策名	施策32. 文化の振興				目	新川文化ホール費			
		基本事業名	基本事業32ー1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）		
	根拠法令								総合戦略との関連	関連なし	
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。							
	対象	市民、各種団体等							
	手段（活動指標）	（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。							
	意図（成果指標）	施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。							

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 利用件数	件	2,906	2,699	3,300	2,882	87.3%	3,300
		② 利用料金	円	14,068,431	13,344,537	15,136,000	14,103,747	93.2%	15,136,000
	成果	① 展示ホール利用率	%	59	62	70	67	95.7%	70
② 和室・会議室利用率		%	26.0	23.3	30.0	24.8	82.7%	30.0	

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費合計	(A)	円	83,829,680	99,672,804	93,846,280	90,719,000	-9.0%	75,112,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金		円						
	②県支出金		円	246,456					
	③地方債		円				13,500,000		
	④その他（使用料、雑入等）		円	172,870	173,183	172,000	198,640	14.7%	172,000
	⑤一般財源		円	83,410,354	99,499,621	93,674,280	77,020,360	-22.6%	74,940,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数		人	2	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間		時間	460	540	500	540	0.0%	540
	③人件費（②×@ 4,027 円）（B）		円	1,852,420	2,174,580	2,013,500	2,174,580	0.0%	2,174,580
	総費用（A+B）		円	85,682,100	101,847,384	95,859,780	92,893,580	-8.8%	77,286,580

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	○基本協定書・年度協定書に基づき、指定管理者（（公財）富山県文化振興財団）へ指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。 ○魚津市民文化祭（10月20日、21日）、第58回魚津市美術展（11月3日～11月8日）を開催した。 ○搬入用エレベータ制御盤等改修工事を実施。								

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である
効率性					③ 対象の妥当性	1 妥当である
					① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
結果（課長総括）					③ 上位施策への貢献度	2 普通
					① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	1 適正である
1次評価					③ 負担割合の適正化	1 適正である
	今後の方針				不要	
2次評価	○現状を維持	方針の説明等	市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者としっかり連携しながら事業をすすめていかなければならない。			
	事業の拡充					
	事業の縮小					
	統合等の検討					
	終了又は廃止・休止					

1 基本項目	事務事業名				芸術文化振興事業	担当 部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				芸術文化振興事業		係名	生涯学習・文化係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1045				
	事業期間				開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算 科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名				基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名				政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名				施策32. 文化の振興				目	文化費	
	基本事業名				基本事業32－1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）	
	根拠法令								総合戦略との関連		関連あり（評価対象）	
アウトソーシング導入状況								集中プランとの関連		関連あり		

2 事業概要	事業概要	市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。						
	対象	①市民、②市内文化団体（文化協会、市美協）、③市内小中学生						
	手段（活動指標）	国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。						
	意図（成果指標）	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	国県等の補助事業開催数	件	5	4	5	9	180.0%	5
	活動②	中学校文化連盟事業	件	12	12	12	11	91.7%	12
	成果①	文化祭への参加人数	人	4,541	4,698	6,000	4,278	71.3%	6,000
	成果②	市美展出品数（一般、招待）	点	205	213	240	188	78.3%	240

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計（A）	円	729,508	956,400	1,311,000	1,249,516	30.6%	2,467,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	53,861	32,964	61,000	16,482	-50.0%	1,561,000
		⑤一般財源	円	675,647	923,436	1,250,000	1,233,034	33.5%	906,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	2	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	440	600	500	600	0.0%	600
		③人件費（②×@ 4,027 円）（B）	円	1,771,880	2,416,200	2,013,500	2,416,200	0.0%	2,416,200
	総 費 用（A+B）		円	2,501,388	3,372,600	3,324,500	3,665,716	8.7%	4,883,200

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○国県等の補助事業を利用した公演（文化芸術による子供の育成事業等）を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。 ○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。文化協会・富山国際現代美術展実行委員会主催の「長澤忠徳氏講演会」、市美協主催の「第19回会員展」を支援するとともに同時期に市美協40周年のため魚津市教育委員会主催の魚津市所蔵作品展を開催した。また、4年に1度開催される富山国際現代美術展（ART/X/TOYAMA）を支援した。 ○大平山濤作品「星ものがたり」の修繕を行った。 ○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。	

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有 効 性	B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
	効 率 性	C	C	実施主体と内容の見直しが必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり
					③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり
	結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	1 次評価	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名				スポーツ推進委員事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名				スポーツ推進委員事業		係名	スポーツ係	
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1046	
	事業期間		開始年度	昭和36年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	10 教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6 保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	1 保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進						
	根拠法令						総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
							総合戦略との関連		関連なし
アウトソーシング導入状況		アウトソーシング導入済（協働）				集中プランとの関連		関連なし	

3 指	活動	① 市主催スポーツ行事におけるスポーツ推進委員協力延べ人数	人	234	205	240	225	93.8%	240
	成果	② 市主催のスポーツ行事協力依頼数	回	5	9	8	9	112.5%	8
	成果	① 週に1回以上スポーツをする人の割合	%	29.6	45.0	46.0	45.2	98.3%	50.0
	成果	②							
4 コスト情報	区	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	
	事業費合計 (A)	円	2,217,898	2,300,698	2,345,000	2,251,448	-2.1%	2,209,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
5 取組内容	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	840	840	840	840	0.0%	840
		③人件費 (②×@ 4,027 円) (B)	円	3,382,680	3,382,680	3,382,680	3,382,680	0.0%	3,382,680
	総費用 (A+B)	円	5,600,578	5,683,378	5,727,680	5,634,128	-0.9%	5,591,680	
6 評価	区	単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	
	事業費合計 (A)	円	2,217,898	2,300,698	2,345,000	2,251,448	-2.1%	2,209,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
7 評価	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	840	840	840	840	0.0%	840
		③人件費 (②×@ 4,027 円) (B)	円	3,382,680	3,382,680	3,382,680	3,382,680	0.0%	3,382,680
	総費用 (A+B)	円	5,600,578	5,683,378	5,727,680	5,634,128	-0.9%	5,591,680	

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	・スポーツ推進委員協議会及び同四部会の開催、スポーツ行事企画会議の開催（年10回以上） ・スポーツ推進委員資質向上のための研修会の開催（実技研修及び講演会） ・全国、北陸地区研修会参加 ・うおづスポレク祭、ユニホック交流大会の開催 ・市及び体育協会主催行事協力 ・ニュースポーツ出前講習の開催								

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	A	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である
7 評価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	① 目標達成度	2 目標どおり
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	市民がよりスポーツに親しめる環境づくりに重要な役割を果たしており、今後も継続して取り組む必要がある。	② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
					① コスト効率	2 普通
8 評価					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名				市民スポーツ奨励事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名				市民スポーツ奨励事業		係名	スポーツ係	
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1046	
	事業期間		開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	10. 教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6. 保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	1. 保健体育総務費
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画主な事業	
	根拠法令						総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況		アウトソーシング導入済（協働）				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	生涯スポーツを推進する事業（うおづスポーツレクリエーション事業の実施、生涯スポーツサポートなど）の実施、市民が参加する大会や高いレベルの競技大会の開催に対する補助金交付。						
	対象	スポーツを愛好する市民						
	手段（活動指標）	○うおづスポーツレクリエーション事業の実施 ○市民スポーツ大会・教室の開催に対する補助 ○市内外からの選手、チームが参加する全国規模的な大会開催への補助						
	意図（成果指標）	定期的にスポーツ活動を実践する市民を増やす。						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 補助大会・教室数	回	25	25	25	24	96.0%	24
		② 生涯スポーツサポート事業実施地区	地区			2	3	150.0%	2
	成果	① 週に1回以上スポーツをする人の割合	%	29.6	45.0	46.0	45.2	98.3%	50.0
		② 総合型地域スポーツクラブ会員数	人	3,097	3,138	4,300	3,008	70.0%	4,300

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	2,322,609	1,742,930	1,719,000	1,589,800	-8.8%	1,524,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円		13,000				
		⑤一般財源	円	2,322,609	1,729,930	1,719,000	1,589,800	-8.1%	1,524,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	940	700	800	700	0.0%	800
		③人件費（②×@ 4,027 円）(B)	円	3,785,380	2,818,900	3,221,600	2,818,900	0.0%	3,221,600
	総 費 用 (A+B)		円	6,107,989	4,561,830	4,940,600	4,408,700	-3.4%	4,745,600

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等							
	・市民スポーツ大会の開催（24大会） ・市民スポーツ教室の開催 ・うおづスポーツレクリエーション事業の開催 ・市民スポーツ地区対抗事業の実施 ・UO!SPO事業3回実施（天神、大町地区、ありそドーム）							

6 評 価	評価の視点		H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定		
	妥 当 性		A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性		1	妥当である	
						② 目的の妥当性		1	妥当である	
						③ 対象の妥当性		1	妥当である	
	有 効 性		A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度		2	目標どおり	
						② 類似事業の有無		1	なし	
						③ 上位施策への貢献度		2	普通	
	効 率 性		A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率		2	普通	
						② 実施主体の適正化		1	適正である	
						③ 負担割合の適正化		1	適正である	
	1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2 次 評 価	不要			
		今後の 方針	○ 現状を維持	方針の 説明等	各種スポーツ大会や教室を支援することは、市民スポーツの 振興策として有効であるが、さらに多くの市民がスポーツ活 動に参加するよう工夫する必要がある。					
事業の拡充										
事業の縮小										
統合等の検討										
	終了又は廃止・休止									

1 基本項目	事務事業名					学校体育施設開放事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課			
	予算事業名					学校体育施設開放事業		係名	スポーツ係			
	事務区分					自治事務		電話番号	0765-23-1046			
	事業期間					開始年度	昭和50年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	教育費			
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	保健体育費			
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	保健体育総務費			
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進									
	根拠法令						スポーツ基本法	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）		
								総合戦略との関連		関連なし		
アウトソーシング導入状況						アウトソーシング導入済（協働）	集中プランとの関連		関連なし			

2 事業概要	事業概要	最も身近なスポーツ施設である学校体育施設を、スポーツ利用のため夜間開放する。							
	対象	市民、施設							
	手段 (活動指標)	管理指導員の任命と活用する施設の修繕等により、より多くの開放が行えるようにする。							
	意図 (成果指標)	多くの住民が、スポーツやレクリエーションに取り組めるようになる。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 開放施設数	施設	20	20	20	20	100.0%	18
		②							
	成果	① 利用者数	人	39,642	35,458	40,000	36,467	91.2%	38,000
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	1,907,383	1,774,980	2,048,000	1,771,587	-0.2%	2,034,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	206,600	190,100	200,000	169,100	-11.0%	200,000
		⑤一般財源	円	1,700,783	1,584,880	1,848,000	1,602,487	1.1%	1,834,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	80	80	80	80	0.0%	100
		③人件費（②×@ 4,027 円）（B）	円	322,160	322,160	322,160	322,160	0.0%	402,700
	総 費 用（A+B）		円	2,229,543	2,097,140	2,370,160	2,093,747	-0.2%	2,436,700

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	(1) 管理指導員の任命：①地区体育振興会、体育協会へ管理指導員の推薦を依頼、②推薦により任命：任命状交付 (2) 開放状況の把握：①報告書提出依頼（各施設の主任管理指導員）、②報告の取りまとめ (3) 施設の維持管理及び各種連絡調整								

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥 当 性	A	B	進め方等の改善が必要	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	2 検討の余地あり
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有 効 性	A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	2 普通
	効 率 性	A	C	実施主体と内容の見直しが必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり
					③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり
	結果 (課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	1 次評価	今後の方針	方針の説明等	地域におけるスポーツ活動の拠点となる最も身近な体育施設であり、今後も利用を推進する必要がある。しかしながら、施設の効果的で効率的な管理運営を目指すため、管理者や利用者負担のあり方などを検討していく必要がある。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名				体育施設管理事務	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名				体育施設管理費		係名	スポーツ係	
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1046	
	事業期間		開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	10教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6保健体育費
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	2体育施設費
		基本事業名	基本事業33－1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画主な事業	
	根拠法令						総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況		アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。 1. 対象施設：天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館（温水プール、弓道場含む）、桃山運動公園 2. 指定管理者制度による維持管理、運営 H18.4.1から（公財）魚津市体育協会					
	対象	市民、管理施設（天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館（温水プール、弓道場含む）、桃山運動公園）					
	手段（活動指標）	（公財）魚津市体育協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕（規模が大きく金額で300千円以上）等を行った。					
	意図（成果指標）	事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加					

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 施設修繕（300千円以上）	件	1	5	5	3	60.0%	3
成果	②								
	① 週1回以上スポーツをする市民の割合	%		29.6	45.0	45.0	45.2	100.4%	50.0
	② 対象スポーツ施設の利用者数	人		228,179	220,802	220,000	214,936	97.7%	200,000

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費合計	(A)	円	113,282,640	117,893,634	119,629,200	114,560,520	-2.8%	220,628,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金		円						20,000,000
	②県支出金		円						
	③地方債		円						
	④その他（使用料、雑入等）		円	620,943	599,827	685,000	622,817	3.8%	685,000
	⑤一般財源		円	112,661,697	117,293,807	118,944,200	113,937,703	-2.9%	199,943,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数		人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間		時間	1,020	600	700	600	0.0%	700
	③人件費（②×@ 4,027 円）（B）		円	4,107,540	2,416,200	2,818,900	2,416,200	0.0%	2,818,900
	総費用（A+B）		円	117,390,180	120,309,834	122,448,100	116,976,720	-2.8%	223,446,900

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等							
	基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。 天神山野球場グラウンド照明修繕 桃山運動公園 運動広場散水ポンプ取替工事 魚津市総合体育館 高圧気中開閉器取替工事 旧大町小、村木小及び上野方小のグラウンド及び体育館の管理、運営を行う。							

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有効性	C	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	2 普通
	効率性	A	B	事業自体の見直しでなく進め方の改善が必要	① コスト効率	3 低い
1 次評価	結果（課長総括）	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	② 実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	公共施設再編方針に基づき、総合体育館は平成32年度で廃止予定。 代替施設となる旧小学校の利活用も含め、施設全体のストック計画の策定や利用料金の見直しを行う等、効率的で効果的な施設の管理運営を行う必要がある。	③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり
					2 次評価	

1 基本項目	事務事業名					市民体育大会・県民体育大会事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名					市民体育大会・県民体育大会事業		係名	スポーツ係				
	事務区分					自治事務		電話番号	0765-23-1046				
	事業期間					開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	10. 教育費				
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6. 保健体育費				
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	1. 保健体育総務費				
		基本事業名	基本事業33ー2. 選手・指導者の育成と支援										
	根拠法令					総合計画主な事業					記載あり（評価対象）		
						総合戦略との関連					関連なし		
アウトソーシング導入状況					アウトソーシング導入済（業務委託）					集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	○市民体育大会の開催：市民にスポーツを普及・振興し、心身の健康並びに体力の増進及び競技力の向上を図り、明るく豊かな生活の推進に寄与することを目的として開催する。 ○県民体育大会に参加する選手への選手派遣事務を行う。	
	対象	スポーツを愛好する市民	
	手段（活動指標）	○市民体育大会の開催 ○県民体育大会・冬季市民体育大会参加選手の派遣業務	
	意図（成果指標）	ア. 練習成果を発揮する場を提供することで、生涯スポーツの振興を図る。 イ. 県民体育大会に参加する選手に対する交通費等の補助をすることで、競技意欲、及び競技レベルの向上を図る	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	市体総合開会式の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
	活動②	県民体育大会（2部・3部）の参加者（派遣選手）数（延べ人数）	人	669	713	800	674	84.3%	750
	成果①	県民体育大会（2部）の順位（一般）	位	8	8	5	11	220.0%	8
	成果②	県民体育大会（2部）の順位（中学）	位	9	12	8	8	100.0%	8

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計（A）	円	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0.0%	2,250,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0.0%	2,250,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	300	200	200	200	0.0%	200
		③人件費（②×@ 4,027 円）（B）	円	1,208,100	805,400	805,400	805,400	0.0%	805,400
	総 費 用（A+B）		円	3,708,100	3,305,400	3,305,400	3,305,400	0.0%	3,055,400

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○市民体育大会の開催（21種目）：市民体育大会各競技の開催準備及び総合開会式式典運営を魚津市体育協会に委託 ○県民体育大会への選手派遣（941人）：県体育協会への出場申込み事務、選手派遣の交通費補助の事務を魚津市体育協会に委託	

評価の視点		H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	2	普通	
	効 率 性	A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2 次 評 価	不要		
	今後の 方針	☒ 現状を維持	方針の 説明等	市民体育大会は、多くの市民がスポーツに親しみ、生きがい、健康づくりに取り組むために大きな役割を果たしており、継続して取り組む必要がある。				
		☐ 事業の拡充						
		☐ 事業の縮小						
		☐ 統合等の検討						
	☐ 終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事 務 事 業 名					担当部署	課 等 名	生涯学習・スポーツ課		
	予 算 事 業 名						係 名	スポーツ係		
	事 務 区 分						電 話 番 号	0765-23-1046		
	事 業 期 間		開始年度	平成4年度以前	終了年度	当面継続	予算科目	会 計	一般会計	
	総合計画	目 標 名	基本目標4. 人と文化を育むまち					款	10. 教育費	
		政 策 名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	6. 保健体育費	
		施 策 名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	1. 保健体育総務費	
		基本事業名	基本事業33－2. 選手・指導者の育成と支援					総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根 拠 法 令							総合戦略との関連		関連なし
アウトソーシング導入状況							集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	(1) 選手強化育成事業：①優秀チームの招聘、県外遠征、指導者講習会の開催により小中学生を中心とするジュニア期からの競技力、指導資質の向上を図る。②県駅伝競走大会において、選手強化・選考、大会への選手派遣業務を行う。(2) 優秀選手派遣事業：①国、県及び魚津市を代表してスポーツ大会に出場する選手等に対して、激励金を支給する。②中学校体育連盟が主催するスポーツ大会に出場する選手に対し、派遣等に係る経費の一部を補助する。							
	対象	(1) 選手強化育成事業：主に小中学生の競技スポーツ選手、(2) 優秀選手派遣事業：全国大会および北信越大会等地域の代表として出場する競技スポーツの選手							
	手段 (活動指標)	(1) 選手強化育成事業委託 魚津市体育協会、魚津市陸上競技協会に委託する。 (2) 優秀選手派遣事業 広報等により市民に事業内容を周知し対象選手に申請をしてもらう。							
	意図 (成果指標)	・競技スポーツ選手の技術、能力の向上。 ・優秀な成績を挙げ、全国大会等に出場する選手の増加。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	激励金申請件数	件	221	217	250	261	104.4%	250
	活動②	中体連スポーツ大会出場人数	人	329	400	400	340	85.0%	400
	成果①	全国大会出場者数	人	169	233	240	144	60.0%	200
	成果②								

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	4,482,050	5,422,129	5,060,150	4,736,150	-12.7%	4,604,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円						4,500,000
		⑤一般財源	円	4,482,050	5,422,129	5,060,150	4,736,150	-12.7%	104,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	640	880	880	880	0.0%	800
		③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,577,280	3,543,760	3,543,760	3,543,760	0.0%	3,221,600
	総費用(A+B)		円	7,059,330	8,965,889	8,603,910	8,279,910	-7.7%	7,825,600

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	(1) 選手強化育成事業委託 ①選手強化事業 魚津市体育協会へ委託 ②富山県駅伝競走大会選手強化事業 魚津市陸上競技協会へ委託 (2) 優秀選手派遣事業 ①市広報において代表として出場する場合に激励金の交付がある旨の記事を掲載 ②激励金交付申請を受付し、内容確認後対象者へ案内、激励金を交付する。								

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	B	進め方等の改善が必要	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
					②目的の妥当性	1 妥当である
					③対象の妥当性	2 検討の余地あり
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり
					②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
	効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である
	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	1次評価 今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	本事業の激励金の交付により全国大会等への参加の負担を軽減するとともに、選手強化事業の委託や専門的な指導者の派遣により、スポーツの競技力の向上を図る必要がある。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名					担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名						係名	スポーツ係	
	事務区分						電話番号	0765-23-1046	
	事業期間					予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名					款	10教育費	
		政策名					項	6保健体育費	
		施策名					目	1保健体育総務費	
		基本事業名							
	根拠法令					総合計画主な事業			
	アウトソーシング導入状況					総合戦略との関連			
					集中プランとの関連				

2 事業概要	事業概要	中学校において、スポーツの専門的な技術、指導力を備えた教員がいない運動部に対して、その能力を有する外部指導者を派遣することにより競技力の向上を図る。 ア. 派遣要望の把握 イ. 派遣指導者の委嘱 ウ. 謝金支払 エ. 県補助関係事務（申請、実績報告）	
	対象	運動部に所属する中学生	
	手段（活動指標）	ア. 派遣要望の把握 イ. 派遣指導者の委嘱 ウ. 謝金支払 エ. 県補助関係事務（申請、実績報告）	
	意図（成果指標）	競技力の向上	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	派遣指導者数	人	12	12	10	10	100.0%	9
	活動②	指導回数	回	360	360	300	300	100.0%	216
	成果①	県民体育大会の順位	位	9	12	8	8	100.0%	
	成果②								

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計（A）	円	741,550	740,900	619,000	617,850	-16.6%	499,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円	192,000	192,000	160,000	160,000	-16.7%	160,000
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	549,550	548,900	459,000	457,850	-16.6%	339,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	180	100	100	100	0.0%	100
		③人件費（②×@ 4,027 円）（B）	円	724,860	402,700	402,700	402,700	0.0%	402,700
	総費用（A+B）		円	1,466,410	1,143,600	1,021,700	1,020,550	-10.8%	901,700

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	ア. 派遣要望の把握 イ. 派遣指導者の委嘱 ウ. 謝金支払 エ. 県補助関係事務（申請、実績報告）	

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有 効 性	B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	① 目標達成度	1 高い
					② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
	効 率 性	A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
	結果（課長総括）	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	1 次評価 今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	中学校において、スポーツの専門的な技術、指導力を備えた教員が少なくなっており、運動部に対して、その能力を有する外部指導者を派遣することにより競技力の向上を図る必要がある。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名				女性教育事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				女性教育事業		係名	生涯学習・文化係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1045				
	事業期間				開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名				基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名				政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施策名				施策30. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
		基本事業名				基本事業30－2. 地域の教育力の向上				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根拠法令								総合戦略との関連		関連なし	
	アウトソーシング導入状況								集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	各地区婦人会からなる市連合婦人会の活動を通じて女性の社会参加を促す。							
	対象	魚津市連合婦人会の会員							
	手段 （活動指標）	連合婦人会として社会活動に参加する。							
	意図 （成果指標）	活動への参加を通じて女性が能力を発揮し、地域が活性化する。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 魚津市連合婦人会活動数	回	18	17	16	18	112.5%	19
		② 会員数	人	229	208	260	215	82.7%	230
	成果	① 婦人会事業参加者数（延べ）	人	732	755	800	711	88.9%	800
		② 国内研修参加者数	人	30	34	35	40	114.3%	50

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計（A）	円	450,000	450,000	450,000	450,000	0.0%	400,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	450,000	450,000	450,000	450,000	0.0%	400,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	40	60	60	60	0.0%	60
		③人件費（②×@ 4,027 円）（B）	円	161,080	241,620	241,620	241,620	0.0%	241,620
	総 費 用（A＋B）		円	611,080	691,620	691,620	691,620	0.0%	641,620

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	○魚津市連合婦人会へ補助金を交付した。 ○婦人会では、婦人会だよりの発行（年1回）、国内研修の実施、環境フェスティバルをはじめ各種行事への参加等の活動をした。								

評価の視点		H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	B	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	2	普通	
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	2	改善の余地あり	
1 次 評 価	結果 (課長総括)	B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり		不要		
	今後の 方針	☒ 現状を維持	方針の 説明等	地域社会での女性リーダーに求められる役割はますます高まってきており、会員や組織の減少に歯止めがかからない中での活動の在り方について検討する必要がある。	2 次 評 価			
		☐ 事業の拡充						
		☐ 事業の縮小						
		☐ 統合等の検討						
	☐ 終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名				青少年教育事業	担当 部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				青少年教育事業		係名	生涯学習・文化係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1045				
	事業期間				開始年度	昭和48年度	終了年度	当面継続	予算 科目	会 計	一般会計	
	総合 計画	目 標 名				基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政 策 名				政策10. 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
		施 策 名				施策30. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
		基本事業名				基本事業30ー2. 地域の教育力の向上				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根 拠 法 令								総合戦略との関連		関連なし	
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（協働）				集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	魚津市の青少年の健全育成推進を図る。							
	対象	魚津市内の青少年。市民。							
	手段 (活動指標)	市少年補導員による補導巡回活動。青少年関係の研修会の開催。啓発キャンペーンや機関誌発行による広報。							
	意図 (成果指標)	青少年の非行を防止する。市民の青少年健全育成に対する意識を向上させ、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動 成果	① 青少年育成魚津市民会議事業数	回	11	11	11	11	100.0%	11
		② 魚津市少年補導センター街頭補導回数	回	69	30	90	54	60.0%	90
		① 市民会議事業・街頭補導・推進指導員活動数	数	86	47	60	59	98.3%	60
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	869,053	856,010	865,000	857,436	0.2%	769,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	869,053	856,010	865,000	857,436	0.2%	769,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	600	560	560	560	0.0%	560
		③人件費（②×@ 4,027 円）(B)	円	2,416,200	2,255,120	2,255,120	2,255,120	0.0%	2,255,120
	総 費 用 (A+B)		円	3,285,253	3,111,130	3,120,120	3,112,556	0.0%	3,024,120

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	・夏の青少年の非行・被害防止に取り組む運動一斉啓発キャンペーン（7月） ・地域ふれあい事業（5～10月） ・家庭の日図画・ポスター作品展示会（11月） ・魚津市少年補導センター一斉街頭補導（11月） ・子ども・若者育成支援強調月間特別研修会（11月）								

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥 当 性	C	C	進め方の改善でなく内容の見直しが必要	① 自治体関与の妥当性	2	検討の余地あり	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	2	普通	
	効 率 性	B	B	内容の見直しとまではいかず進め方に改善が必要	① コスト効率	1	高い	
					② 実施主体の適正化	2	改善の余地あり	
					③ 負担割合の適正化	2	改善の余地あり	
	結果 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要			
	1 次評価	○ 現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針 の 説明 等	青少年を取り巻く環境は急激に変化しており、家庭・地域・行政が連携し社会全体で青少年の健全育成に取り組む必要がある。		2 次評価		

1 基本項目	事務事業名					歴史民俗博物館企画展事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課					
	予算事業名					歴史民俗博物館企画展事業		係名	生涯学習・文化係					
	事務区分					自治事務		電話番号	0765-23-1045					
	事業期間					開始年度	昭和62年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計		
	総合計画	目標名					基本目標4. 人と文化を育むまち					款	教育費	
		政策名					政策10. 明日を担う人づくり					項	社会教育費	
		施策名					施策30. 生涯学習の推進					目	歴史民俗博物館費	
		基本事業名					基本事業30ー3. 博物館の充実					総合計画主な事業		
	根拠法令					博物館法					総合戦略との関連			関連なし
	アウトソーシング導入状況										集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	常設展とは別に、テーマを設けて展示を行う企画展を開館期間中に実施する。							
	対象	市民、県内外観光客							
	手段 (活動指標)	企画展の開催							
	意図 (成果指標)	地元魚津の歴史や今も伝わる貴重な文化財を知ることができる。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 企画展の開催回数	回	2	2	1	1	100.0%	2
		②							
	成果	① 企画展の入館者数	%	5,106	6,026	3,500	3,869	110.5%	
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	962,574	840,178	1,000,000	603,985	-28.1%	622,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	962,574	840,178	1,000,000	603,985	-28.1%	622,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	600	500	500	500	0.0%	500
		③人件費（②×@ 4,027 円）(B)	円	2,416,200	2,013,500	2,013,500	2,013,500	0.0%	2,013,500
	総 費 用 (A+B)		円	3,378,774	2,853,678	3,013,500	2,617,485	-8.3%	2,635,500

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	・全国に広まった大正7年の米騒動から100年を記念し、企画展「魚津の米騒」展を開催した。 ・企画展関連事業として、地元での座談会、米騒動ゆかりの地を見学する街歩き、図書館と共催で対談による米騒動の講演会等を開催した。 ・市内の小学6年生を対象に企画展の見学会を実施。								

6 評 価	評価の視点		H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥 当 性		A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性		1 妥当である	
						② 目的の妥当性		1 妥当である	
						③ 対象の妥当性		1 妥当である	
	有 効 性		B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度		2 目標どおり	
						② 類似事業の有無		1 なし	
						③ 上位施策への貢献度		2 普通	
	効 率 性		B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率		2 普通	
						② 実施主体の適正化		1 適正である	
						③ 負担割合の適正化		1 適正である	
1 次 評 価	結果 (課長総括)		B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり		不要		
	今後 の方 針	○ 現状を維持	方 針 の 説 明 等	生涯学習や明日を担う人づくりのためにも、事業の推進は必要である。そのためにも、展示内容の見直しや収蔵品の活用などにより博物館の魅力を高める必要がある。		2 次 評 価			
		事業の拡充							
		事業の縮小							
		統合等の検討							
		終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名				文化財保護団体育成事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				文化財保護団体育成事業		係名	生涯学習・文化係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1045				
	事業期間				開始年度	平成16年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名				基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名				政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名				施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名				基本事業32ー2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令				文化財保護法				総合戦略との関連		関連あり(評価対象)	
	アウトソーシング導入状況								集中プランとの関連		関連あり	

2 事業概要	事業概要	指定無形民俗文化財の保存団体の実施する事業について、魚津市より補助金を交付し、文化財の保存・継承に必要な活動や魚津の歴史を研究する歴史同好会の活動について支援する。							
	対象	指定無形民俗文化財保存団体。魚津市の歴史を調査研究する団体。							
	手段 (活動指標)	各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。							
	意図 (成果指標)	保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。							

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 指定無形民俗文化財の維持(保存団体の数)	件	5	5	5	5	100.0%	5
		② 歴史調査研究団体の維持	件	1	1	1	1	100.0%	1
	成果	① 保存・継承されている指定無形民俗文化財の数	件	5	5	5	5	100.0%	5
		② 活動支援した文化財保護団体及び歴史調査研究団体数	件	3	3	5	5	100.0%	5

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	989,520	300,000	3,006,000	1,942,780	547.6%	1,868,800
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円						
		⑤一般財源	円	989,520	300,000	3,006,000	1,942,780	547.6%	1,868,800
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	3	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	100	260	260	260	0.0%	260
		③人件費(②×@ 4,027 円)(B)	円	402,700	1,047,020	1,047,020	1,047,020	0.0%	1,047,020
	総費用(A+B)		円	1,392,220	1,347,020	4,053,020	2,989,800	122.0%	2,915,820

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	・市指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助（補助団体：布施谷節保存会、・鹿熊刀踊り保存会、せり込み蝶六保存会）。 ・国指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助（補助団体：たてもん保存会）。たてもん保存会や斎行委員会と意見交換会を実施しながら、たてもん祭りの運営支援及び後継者育成支援を行った。 ・全国山・鉾・屋台保存連合会総会へ出席。								

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	2	普通	
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
	結果 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要			
	1 次評価	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針 の 説明 等	文化財保存団体も人口減少や高齢化の影響により、活動の維持が難しくなっている。文化財は、地域が主体となって守っていくべきだが、人と文化を育むまちとするためにも、今後も継続して補助することにより、地域と市が連携をとりながら、保護し、活用していく必要がある。	2 次評価			

1 基本項目	事務事業名	文化財保存事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	文化財保存事業			係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務			電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち			科目	款	教育費
	政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項目		社会教育費
	施策名	施策32. 文化の振興			目		文化費
	基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
2 事業概要	根拠法令	文化財保護法			総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を安定的に開催するための協力、支援を行う。					
	対象	市内の文化財					
	手段（活動指標）	市内の文化財の保存・活用のために整備を行うとともに、伝統的な祭りの継承に努める。					
	意図（成果指標）	市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。					

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	5	2	3	2	66.7%	3
成果	②								
	① 郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かであると思う市民の割合	%		58.6	58.7	65.0	67.0	103.1%	70.0
	② たてもん協力隊参加者数	人		320	299	350	357	102.0%	300

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費合計	(A)	円	6,946,248	9,587,189	6,395,400	3,941,513	-58.9%	6,971,200
事業費内訳	①国庫支出金		円						
	②県支出金		円	650,000	500,000				2,144,000
	③地方債		円						
	④その他（使用料、雑入等）		円		500,000	3,000,000			1,600,000
	⑤一般財源		円	6,296,248	8,587,189	3,395,400	3,941,513	-54.1%	3,227,200
人件費	①事務事業に携わる正規職員数		人	3	4	4	4	0.0%	4
	②年間所要時間		時間	1,100	1,240	1,240	1,240	0.0%	1,240
	③人件費（②×@ 4,027 円）（B）		円	4,429,700	4,993,480	4,993,480	4,993,480	0.0%	4,993,480
	総費用（A+B）		円	11,375,948	14,580,669	11,388,880	8,934,993	-38.7%	11,964,680

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等					
	・7月から11月にかけて、教育委員会や図書館、歴史民俗博物館主催による、米騒動100年記念関連イベント（企画展、講演会、まち歩き、フォーラム等）を開催した。 ・11月に開催した米騒動フォーラムの記録集（魚津市立博物館紀要）を作成した。 ・たてもん祭りでは、たてもん協力隊を50名増員した350名を募集し、運行に協力した。併せて法被の追加作成を行った。また、たてもん協力隊に配布するたてもんTシャツを新川みどり野高校（美術部）の協力を得ながら、428枚作成した。30年度から祭り後に埋没林博物館で販売を開始した。					

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	2 普通
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通
1 次評価	結果（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	② 実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針				③ 負担割合の適正化	1 適正である
	○現状を維持				2 次評価	
	事業の拡充					
	事業の縮小					
	統合等の検討					
	終了又は廃止・休止					

1 基本項目	事務事業名				東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名				東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業		係名	スポーツ係		
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1046		
	事業期間		開始年度	平成29年度	終了年度	平成32年度	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 4. 人と文化を育むまち					款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	保健体育費	
		施策名	施策33. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					目	保健体育総務費	
		基本事業名	基本事業33-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進					総合計画主な事業		記載なし
	根拠法令							総合戦略との関連		関連あり（評価対象）
アウトソーシング導入状況							集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、卓球競技、ボッチャ競技について、事前合宿を誘致することで、選手と市民の交流の深化を図りながら、生涯スポーツの振興、観光客誘致等につなげる。また、オリンピック・パラリンピック種目の体験事業を行うことで、機運醸成を図り、生涯スポーツの振興を図る。							
	対象	オリンピックでは卓球競技、パラリンピックではボッチャ競技の出場選手団、体験事業については小中学生をはじめとする市民							
	手段（活動指標）	オリンピック組織委員会のホームページに魚津市のページを掲載。インバウンドで交流のある台湾やボッチャ銀メダリストの藤井友里子さん等を介しながら、海外選手団との交渉を行う。また、「あすチャレ！スクール」等、オリンピック・パラリンピック種目を体験事業を行う。							
	意図（成果指標）	東京オリンピック・パラリンピックそれぞれに出場する海外の選手団の合宿が行われ、選手団と市民との交流が図られる。また、体験事業により、東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成が図られ、スポーツへの関心が高まり、生涯スポーツに取り組む市民が増える。							

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
	活動	①	オリンピック組織委員会のホームページに魚津市のページが掲載された競技の数	件	—	0	2			
		②	オリンピック・パラリンピック種目の体験事業実施回数	件	—	3	3	5	166.7%	3
	成果	①	合宿を誘致した件数	件	—	0	2	0	0.0%	4
②		週1回以上スポーツをする市民の割合	%	29.6	45.0	50.0	45.2	90.4%	50.0	

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円		93,260	580,000	330,705	254.6%	886,000
事業費内訳	財源	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						500,000
		⑤一般財源	円		93,260	580,000	330,705	254.6%	386,000
人件費		①事務事業に携わる正規職員数	人		2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間		100	100	150	50.0%	150
		③人件費（②×@ 4,027 円）(B)	円		402,700	402,700	604,050	50.0%	604,050
	総費用	(A+B)	円		495,960	982,700	934,755	88.5%	1,490,050

5 取組内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等							
	- 卓球競やボッチャ競技の事前合宿候補地としてありそドームがIF基準審査適合確認を受け、東京オリパラ組織委員会のHPに掲載した。 - 体験事業については、「あすチャレ！」スクールで尾尾嘉章氏による車いす陸上体験を住吉小、経田小、道下小の3校で実施した。 - また、松倉小学校、西部中学校では、藤井友里子選手を講師に招き、ボッチャ体験会を開催した。 - ボッチャ競技については、日本選手権大会に赴き、事前合宿誘致について、日本協会等へPRを行った。 - 英語標記の施設紹介パンフレットを作成した。							

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である
1 次評価	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である
	結果（課長総括）	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	3 低い・未実施
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	誘致に向けては、卓球競技、ボッチャ競技ともに市内外、及び海外へのPRのため、協会や県等との連携した活動が必要である。体験事業についても、様々な団体や小中学校等での開催に努めていく。	②類似事業の有無	1 なし
2 次評価				不要		

1 基本項目	事務事業名				たてもんと全国植樹祭レガシー事業	担当 部署	課 等 名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				文化財保存事業		係 名	生涯学習・文化係				
	事務区分				自治事務		電 話 番 号	0765-23-1045				
	事業期間				開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続	予算 科目	会 計	一般会計	
	総合計画	目 標 名				基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政 策 名				政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施 策 名				施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名				基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業		記載なし
	根 拠 法 令								総合戦略との関連		関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況								集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	◆「たてもんの森」プロジェクト事業：平成29年度から3か年計画で地元産の木材でたてもんを製作することを目指して植樹し、「たてもんの森」を整備。 ◆後継者育成事業：祭りを支える伝統技術を伝承していくための後継者の育成経費を支援。 ◆運営支援事業：祭りの恒常的開催のため運営経費を支援。
	対象	魚津市在住の小学生～大人
	手段（活動指標）	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進
	意図（成果指標）	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① たてもんの森植樹祭参加者数	人	—	81	150	83	55.3%	100
	成果	② 郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである、と思う市民の割合	%	58.6	58.7	65.0	67.0	103.1%	70.0

4 コスト情報	区 分		単位	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円		5,891,972	6,131,000	2,450,157	-58.4%	3,193,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円			3,000,000			3,100,000
		⑤一般財源	円		5,891,972	3,131,000	2,450,157	-58.4%	93,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人		2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間		800	600	800	0.0%	800
		③人件費（②×@ 4,027 円）（B）	円		3,221,600	2,416,200	3,221,600	0.0%	3,221,600
	総 費 用（A+B）		円		9,113,572	8,547,200	5,671,757	-37.8%	6,414,600

5 取組 内容	平成30年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	・ 8月3日、4日開催のたてもん祭りの開催にあわせて、引手のボランティアを募集、357名の参加を得た。	
	・ たてもん祭りの安定的開催のため、保存団体へ運営支援を行った。	
	・ たてもん保存会へ後継者育成のため、祭りのお囃子の笛、太鼓の音声を収録したCDを作成する事業に対する支援を行った。これにより町内でばらつきのあったお囃子が統一した音色や調子で継承できるようになった。	
	・ 10月27日「たてもんの森」プロジェクト植樹祭を開催。親子参加者44名、その他企業関係者含め83名の参加者を得た。	

6 評価	評価の視点	H29評価	H30評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有 効 性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
	結果（課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	1次評価	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	・ 植樹イベント参加者の増と植樹会場の計画的な整備などを長期的視野に立って考え、実施していく必要がある。 ・ 植樹イベント以外に森に関わる人やたてもん祭り当日以外にもたてもんに関わる仕組みづくりのため、試行的な取り組みを実施。	2次評価	